



3/10 中止



雨天が予想される
ため

岐阜県政記者クラブ加盟社 各位
可児記者クラブ同時配布資料

令和5年2月8日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農政課スマート農業推進室	スマート農業推進係	上野・粥川	内線 4023 直通 058-272-1562 FAX 058-278-2680
可茂農林事務所	農業普及課地域支援第2係	足立・岩澤	内線 252 代表 0574-25-3111 FAX 0574-28-5301

ほ場条件不利地域におけるスマート農業実証実演会を開催します

県は、中山間地域等条件不利地におけるスマート農業機械の低コスト利用を目的に、国の「スマート農業実証プロジェクト」^{*1}を活用し、水稻生産に係る作業集約や、大豆を生産する生産者同士での機械のシェアリングによる、スマート農業機械の低コスト利用の実証に取り組んでいます。

このたび、本事業で実証したスマート農業機械の効果を県内の生産者等に広く情報発信し、技術を普及するため、下記のとおり実演会を開催します。

記

- 日時** 令和5年2月13日(月) 13:30~15:50
※雨天中止
- 場所** 御嵩町防災コミュニティセンター
(岐阜県可児郡御嵩町中切 1437-1)
- 参加者** 30名程度(水稻・大豆生産者、生産者団体、関係機関等)
- 内容**
 - (1) ほ場条件不利地域におけるスマート農機低コスト利用実証コンソーシアム^{*2}の取組み説明
 - (2) センシングドローンの実演
 - (3) 自動操舵システムを搭載したトラクタによる耕起作業の実演
 - (4) 直進キープ田植機、食味収量コンバイン、自動操舵システム搭載乗用管理機の説明※13:00~13:20に、希望者を対象とした体験用ドローンの操作体験を室内で行います。
- 主催者** ほ場条件不利地域におけるスマート農機低コスト利用実証コンソーシアム
- その他** 取材の際には、マスクの着用や検温、手指の消毒等にご協力願います。新型コロナウイルスの感染拡大状況により開催を中止することがあります。

※1 スマート農業実証プロジェクト

令和元年度から始まった農林水産省事業で、スマート農業技術を実際に生産現場に導入し、技術実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果を明らかにすることを目的として実施しています。

令和元年度から令和4年度まで、全国205地区において実証を行っています。

※2 ほ場条件不利地域におけるスマート農機低コスト利用実証コンソーシアム

【構成員】

(株)アオキ、(農)ふしみ営農、田中農機(株)、(農)みざの、めぐみの農業協同組合、(株)東海近畿クボタ、御嵩町、(一社)岐阜県農業会議、県

<参考>実演会で紹介するスマート農業機械

○センシングドローン

青、緑、赤など、特定の光を撮影するカメラを搭載したドローン。上空から生育中の作物の画像を撮影し、解析することで生育診断を行うことができる。

○自動操舵システム

既存トラクタに取付けることで、誰でも精度の高い自動運転での作業を可能にするシステム。本実証ではトラクタに搭載。

○直進キープ田植機

直進アシスト機能により、誰でも簡単にまっすぐ田植作業を行うことができる田植機。

○食味収量コンバイン

収穫と同時に収量・食味(タンパク質の量)・水分量等を測定し、ほ場ごとの収量や食味等のばらつきを把握できる。ほ場ごとの収量や食味のばらつきに応じて、翌年の施肥量を決めるのに役立てられる。

○自動操舵システム搭載乗用管理機

自動操舵機能により、誰でも精度の高い防除作業が行える乗用管理機。

(別紙)

御嵩町防災コミュニティセンター アクセス図

